

2022年度（第57回）

日本OR学会九州支部総会・講演会

1. 日時

日時：2022年3月5日（土）14:15～17:00

2. 場所：ハイブリット開催

オンサイト会場：九州大学 西新プラザ

[Zoom オンライン会場](#)（←クリック）：ミーティングID: 893 2475 1723, パスコード: 978424

3. 支部総会（14:15～15:00）

- (1) 開会の挨拶
- (2) 2021年度支部活動報告（資料1-1, 1-2）
- (3) 2021年度全国大会実施報告（資料2）
- (4) 2021年度会計報告、監査報告（資料3-1, 3-2）
- (5) 2022年度支部役員選出（資料4）
- (6) 2022年度活動計画（資料5）
- (7) 2022年度予算（資料6）
- (8) 支部規約改正（資料7）

4. 講演会（15:10～16:50：質疑含む）

題目：「離散フェンシエル双対性について」

講師：田村 明久 様（慶応義塾大学）

■ 2021 年度支部活動報告（資料 1-1）

活動	年月日	場所	内容
総会	2021/3/6	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度活動報告, 2021 年度活動計画 ・参加者人数: 19 人
講演会	2021/7/24	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・講師: 二反田 篤史 様 (九州工業大学 大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系) ・題目: 「平均場ニューラルネットワークの最適化法」 ・参加者人数: 12 人
研究会	2021/7/24	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・講師: 村原 英樹 様 (北九州市立大学 経済学部 経営情報学科) ・題目: 「多重ゼータ値と大野和について」 ・参加者人数: 12 人
支部事業 SSOR	2021/11/13	オンライン	九州地区における若手 OR 研究交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・発表者人数: 17 件 ・参加者人数: 33 人
講演会	2021/11/13	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・講師: 宮代 隆平 様 (東京農工大学) ・題目: 「特徴選択と整数最適化」 ・参加者人数: 33 人
講演会	2021/12/11	ハイブリット式 ・福岡工業大学 ・オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・講師: 川崎 英文 様 (九州大学 大学院数理学研究院) ・題目: 「不動点定理とその仲間たち」 ・講師: 森脇 敏雄 様 (北九州市立大学 経済学部) ・題目: 「FLEX Full Historical を利用した財務会計研究の方向性」 ・参加者人数: 11 人

(資料 1-2)

2021年度OR学会九州支部事業「九州地区における若手OR研究交流会」

. 開催形態

- zoomを用いたオンライン型

. 開催日

- 2021年11月13日(土) 09:55~17:30

. 事務局

- 宋 宇 (福岡工業大学, 支部長)
- 藤本 明子 (九州工業大学)

. 実行委員

- 脇 隼人 (九州大学, chair)
- 伊豆永 洋一 (九州大学)

. スケジュール

- 09:30 開場
- 09:55~10:00 実行委員会より交流会に関する連絡・注意事項などの説明
- 10:00~11:00 第1セッション(以下講演者のみ記載)
 - 白橋正貴(九大) 「Component Order Connectivity Problem の拡張に対するカーネル化」
 - 芳岡優衣(九工大) 「連結二部置換グラフの高速な列挙アルゴリズム」
 - 草野敦也(九工大) 「LCMを用いた株価騰落情報による類似株価変動企業の抽出」
 - 御厨徹(九工大) 「強化学習を用いた自律的な電離圏計測機器制御システムの開発」
- 11:10~12:10 第1セッション
 - 盧尚(九大) 「目の平均が等しいサイコロの組に最強のサイコロは存在するか？」
 - 松山幸生(九工大) 「文字列検索を応用した赤道域地磁気変動パターンの簡易検索手法の提案」
 - 吉瀬紘平(九工大) 「木グラフの次数と適切なグラフ有向化数」
 - 廣重優(九工大) 「イオノグラム画像におけるスポラディックE層エコー検出モデルの開発」
- 13:20~14:20 第3セッション(以下講演者のみ記載)
 - 熊本舟馬(九大) 「拡大する3次元領域上の格子ランダムウォークの再帰性の十分条件について」
 - 西谷麻生(九工大) 「複製文字列長を限定したタンデム複製問題」
 - 税所航平(九工大) 「k制約付き最小カット問題とk制約付き最小全域木問題」
 - 中村裕貴(九工大) 「k制約付き重み付き最大二部マッチング問題」
- 14:30~15:45 第4セッション
 - 塩田拓海(九工大) 「アルキメデスの角柱の重なりを持つ辺展開図」
 - 野々上礼央(九工大) 「円弧グラフに対する最大彩色可能部分グラフ問題」
 - 歌島侃勇(九工大) 「最長共通部分列問題の多項式時間同値性と厳密アルゴリズム」
 - 川原田隼介(九工大) 「辺素な2つの閉路への分解問題の計算困難性」
 - 松尾朋卓(九工大) 「ZDDを用いた時間割作成アルゴリズムの開発」
- 16:00~17:00 特別講演「特徴選択と整数最適化」 宮代隆平 (東京農工大学)
- 17:00~17:10 閉会

. 報告

- 本支部事業の目的は、九州地区のOR研究者・学生に発表の機会を提供し、所属、研究交流を通じて人的ネットワークの構築と研究活性化の促進を図ったものである。本年度は、コロナ渦の影響もあり、ZOOMを用いた完全オンラインで1日での開催となった。講演者は皆、ZOOMによる講演に慣れているようで特にトラブルもなく順調に交流会を進めることができた。当日の参加者は最大33名であった。この中には、九州地区以外からの参加も少しではあるがあった(2割程度か)。講演数は17件、特

別講演1件であった。特別講演を除く17件の講演から厳選な審査のもと、以下のように最優秀賞および優秀賞者を決めた。なお、賞状および副賞は既に郵送あるいは手渡しした。

- 最優秀賞
 - 税所航平(九工大) 「k制約付き最小カット問題とk制約付き最小全域木問題」
- 優秀賞 (講演順)
 - 芳岡優衣(九工大) 「連結二部置換グラフの高速な列挙アルゴリズム」
 - 盧尚(九大) 「目の平均が等しいサイコロの組に最強のサイコロは存在するか？」
 - 塩田拓海(九工大) 「アルキメデスの角柱の重なりを持つ辺展開図」

. 収支

- 収入 50,000円 (OR学会九州支部予算)
- 支出 44,850円
 - 謝金 (講師講演費用) $10,000 + 1,137 = 11,137$ 円
 - 賞品代 (Amazon ギフト) $10,000円 * 1件 = 10,000$ 円
 - 賞品代 (Amazon ギフト) $5,000円 * 3件 = 15,000$ 円
 - 賞状印刷代 5,015円
 - 郵送費 $370円 * 3件 = 1,110$ 円
 - 雑費 $220円(振込手数料) + 168円(切手代) + 2,200円(zoomアカウント1月) = 2,588$ 円

■ 2021 年度全国大会実施報告（資料 2）

2021 年 12 月 11 日

日本オペレーションズ・リサーチ学会 2021 年秋季全国大会実施報告書

報告

1. シンポジウム、研究発表会の参加者について
 2. シンポジウム、研究発表会の当日の状況について
 3. 全国大会決算について
 4. その他
-
1. シンポジウム、研究発表会の参加者について
 - シンポジウムは 112 名、研究発表会は 270 名の参加登録があった。
 2. シンポジウム、研究発表会当日の状況について
 - シンポジウム（9 月 15 日(水)）
 - 5 件の講演が行われ、滞りなく終了した。
 - 研究発表会（9 月 16 日(木)、9 月 17 日(金)）
 - 1 日目、2 日目合わせて事前に 85 件の研究発表の申し込みがあった。当日にキャンセルされた研究発表はなく、特に問題なくすべての研究発表が行われた。
 - 1 日目の午後には会長挨拶(田村副会長が代理)および表彰式が行われた。
 - 2 日目は台風に見舞われたが、実行委員会内での事前調整により、研究発表会の実施に影響はなかった。
 - 各日 1 件ずつの特別講演が行われた。2 日目の特別講演でトラブルがあったものの、実行委員会内で講演時間、以降のスケジュールの調整を行ったため、特に支障はなかった。
 3. 全国大会決算について
 - 最終決算は、シンポジウム、研究発表会合わせて 122 万円余りの黒字となった。
 - 決算の詳細は、添付資料を参照されたい。
 4. その他
 - シンポジウム、研究発表会、企業事例交流会のルポを平山先生、藤田先生、山城先生にご作成いただいた。

■ 2021 年度会計報告、監査報告
(資料 3-1)

2021 年度日本 OR 学会九州支部会計監査報告

【収入の部】		
支部運営費	予算	実績
本部交付金	250,000	250,000
利息	0	1
収入合計	250,000	250,001

【支部事業費】		
支部事業費	予算	実績
本部交付金	100,000	100,000
参加費	111,000	0
補助（支部運営費）	57,000	0
収入合計	268,000	100,000

【支出の部】		
支部運営費	予算	実績
総会（茶果）	2,000	0
総会会場賃料	6,000	0
総会後懇親会	30,000	0
運営委員会会場費	5,000	0
運営委員会交通費補助	5,000	0
講演会・講師謝金	35,000	30,000
#・講師交通費補助	40,000	3,420
#・懇親会	25,000	24,750
飲み物代	2,000	864
研究会・講師謝金	20,000	10,000
#・講師交通費補助	10,000	0
通信費・事務費	500	874
源泉税返納	12,000	6,074
口座手数料	500	330
支部事業補助	57,000	0
本部返金	0	173,688
支出合計	250,000	250,000

【支部事業費】		
支部事業費	予算	実績
宿泊費	150,000	0
講師謝金	12,000	10,000
優秀報告賞	11,000	30,015
交通費補助	75,000	0
通信費	0	3,478
口座振込手数料	0	220
懇親会、茶菓	20,000	0
本部返金	0	56,287
支出合計	268,000	100,000

※支部事業講師謝金の源泉税は支部運営費の支出に計上

監査しました結果、上記の通り相違ございません。

2022 年 2 月 27 日
九州支部監事

所属： 福岡大学 氏名： 梶井昌邦 (印)

(資料 3-2)

2021 年度日本 OR 学会九州支部会計監査報告

【収入の部】		
支部運営費	予算	実績
本部交付金	250,000	250,000
利息	0	1
収入合計	250,000	250,001

支部事業費		
	予算	実績
本部交付金	100,000	100,000
参加費	111,000	0
補助（支部運営費）	57,000	0
収入合計	268,000	100,000

【支出の部】		
支部運営費	予算	実績
總會（茶菓）	2,000	0
總會会場賃料	6,000	0
總會後懇親会	30,000	0
運営委員会会場費	5,000	0
運営委員会交通費補助	5,000	0
講演会・講師謝金	35,000	30,000
〃・講師交通費補助	40,000	3,420
〃・懇親会	25,000	24,750
飲み物代	2,000	864
研究会・講師謝金	20,000	10,000
〃・講師交通費補助	10,000	0
通信費・事務費	500	874
源泉税返納	12,000	6,074
口座手数料	500	330
支部事業補助	57,000	0
本部返金	0	173,688
支出合計	250,000	250,000

支部事業費		
	予算	実績
宿泊費	150,000	0
講師謝金	12,000	10,000
優秀報告賞	11,000	30,015
交通費補助	75,000	0
通信費	0	3,478
口座振込手数料	0	220
懇親会、茶菓	20,000	0
本部返金	0	56,287
支出合計	268,000	100,000


※支部事業講師謝金の源泉税は支部運営費の支出に計上

監査しました結果、上記の通り相違ございません。

2022 年 3 月 2 日

九州支部監事

所属：長崎大学

氏名：津留崎和義 

■ 2022 年度支部役員選出（資料 4）

☆：新任者、五十音順

◆支部役員名簿

役職	新	氏名	所属	
支部長	☆	宮野 英次	九州工業大学	情報工学研究院教授
副支部長	☆	李明哲	福岡大学	経済学部教授
運営委員	☆	梶井 昌邦	福岡大学	経済学部教授
運営委員	☆	神山 直之	九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所教授
運営委員	☆	津留崎 和義	長崎大学	経済学部准教授
運営委員		平山 克己	北九州市立大学	経済学部経営情報学科教授
運営委員		藤澤 克樹	九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所教授
運営委員		藤田 敏治	九州工業大学	工学研究院教授
運営委員		古川 哲也	九州大学	大学院経済学研究院教授
運営委員		丸山 幸宏	長崎大学	経済学部教授
監事	☆	池田 欽一	北九州市立大学	経済学部経営情報学科教授
監事	☆	宋 宇	福岡工業大学	情報工学部システムマネジメント学科教授
幹事	☆	伊豆永 洋一	九州大学	経済学研究院経済工学部門講師
幹事		植野 貴之	長崎県立大学	経済学部経済学科准教授
幹事		北原 知就	九州大学	経済学研究院経済工学部門准教授
幹事		譚 康融	久留米大学	経済学部教授
幹事		傅 靖	福岡工業大学	情報工学部システムマネジメント学科准教授
幹事		藤本 晶子	九州工業大学	情報工学研究院准教授
幹事		山城 興介	日本文理大学	経営経済学部准教授
幹事		脇 隼人	九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所准教授
顧問		岩本 誠一	九州大学	名誉教授
事務局		藤本 晶子	九州工業大学	情報工学研究院准教授

◆支部関連 研究普及委員名簿

役職	新	氏名	所属	
研究普及委員		神山 直之	九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所教授
研究普及委員	☆	津留崎 和義	長崎大学	経済学部准教授

◆支部推薦代議員名簿

役職	新	氏名	所属	
代議員		川崎 英文	九州大学	名誉教授
代議員	☆	平山 克己	北九州市立大学	経済学部経営情報学科教授

■ 2022 年度活動計画（資料 5）

◆支部活動計画(案)

日程	活動項目	開催地	幹旋者	
			講演会	研究会
2022年3月5日	総会	ハイブリット(現地: 西新プラザ)	支部長	-
2022年7月	第1回講演・研究会	未定	九大	長大
2022年10月	第2回講演・研究会	未定	福大	福工大
2022年12月	第3回講演・研究会	未定	長大	九工大

※幹旋輪番

- | | |
|--------|--------|
| 1. 九工大 | 1. 長大 |
| 2. 北九大 | 2. 福工大 |
| 3. 九大 | 3. 福大 |
| 4. 福大 | 4. 九工大 |
| 5. 長大 | 5. 北九大 |
| | 6. 九大 |

◆支部事業計画(案)

日程	活動項目	開催地	備考
開催なし	九州地区における 若手OR研究交流会		実行委員長:-

■ 2022 年度予算（資料 6）

【収入の部】

支部運営費	予算	実績
本部交付金	250,000	
利息	0	
収入合計	250,000	

支部事業費	予算	実績
本部交付金	0	
参加費	0	
補助（支部運営費）	0	
収入合計	0	

【支出の部】

支部運営費	予算	実績
総会（茶果）	2,000	
総会会場賃料	10,000	
総会後懇親会	20,000	
運営委員会会場費	20,000	
運営委員会交通費補助	25,000	
講演会・講師謝金	45,000	
〃・講師交通費補助	40,000	
〃・懇親会	20,000	
飲み物代	2,000	
研究会・講師謝金	30,000	
〃・講師交通費補助	20,000	
通信費・事務費	2,000	
源泉税返納	12,000	
口座手数料	2,000	
支部事業補助	0	
本部返金	0	
支出合計	250,000	

支部事業費	予算	実績
宿泊費	0	
講師謝金	0	
優秀報告賞	0	
交通費補助	0	
懇親会、茶菓	0	
支出合計	0	

2021/12/11

九州支部長

宋 宇

九州支部規約改正について

1. 提案概要

- ・支部監事による会計監査の廃止
- ・文言の整備

2. 趣旨

- ・OR 学会支部規程(2-1-5)では支部監事による会計監査の定めがなく、支部で監査する義務はない。
- ・支部の決算については本部で監査しており、支部での監査は二重手間である。
- ・会計監査を廃止することにより、関連作業の負担は軽減される。

3. 改正内容

1) 第 13 条における支部監事による会計監査を削除。

2) その他

第 2 条： 事務所の所在地を実情に合わせて修正。

第 6 条(2)： 副支部長人数を実情に合わせて修正。

附則： 条文番号の削除

4. 今後の手続き

3 月の「支部総会で賛成を得、かつ本部理事会の承認を得て変更」

5. その他

表題は「規約」のまま？（「支部規程」では「規則」となっている）

九州支部規則（改正案）

（名 称）

第 1 条 本支部は日本オペレーションズ・リサーチ学会九州支部と称する。

第 2 条 本支部の事務所は、福岡県九州支部の地域内に置く。

（目 的）

第 3 条 本支部は日本オペレーションズ・リサーチ学会（以下本部と称する。）の目的達成の為に必要な地域活動の推進をはかる。

（事 業）

第 4 条 本支部は前条の目的を達成する為に次の事業を行なう。

オペレーションズ・リサーチに関する研究会、講演会の開催。

図書、文献の収集、保存。

印刷物の作成配布、その他必要と認められる事業。

（会 員）

第 5 条 本支部は原則として、次の地域に在住又は勤務する会員（正会員、学生会員、賛助会員の代表者又は代理者、名誉会員）をもって構成する。

※ 九州一円

（役 員）

第 6 条 本支部は次の役員をおくことができる。

(1) 支部長 1名

(2) 副支部長 2名以内

(3) 支部運営委員 若干名

(4) 支部顧問 若干名

(5) 支部監事 2名

(6) 支部幹事 若干名

第 7 条 役員を選出は次の手続きによる。

(1) 支部長、副支部長、運営委員、支部監事は支部総会において会員の互選により定める。

(2) 支部顧問及び支部幹事は会員の中より運営委員会の推選に基づいて支部長が委嘱する。

第 8 条 役員の任期は2年とする。ただし再任はさまたげない。

第 9 条 役員に欠員を生じた場合は、運営委員会の推選により、補充することができる。

ただし、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運 営)

第 10 条 支部長は、支部を代表し、支部業務を総括し、支部会議を招集して、その議長の任にあたる。

第 11 条 副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、支部長の業務を代行する。

第 12 条 運営委員は、支部業務を決議、執行する。

2. 支部顧問は支部業務の運営に関し、支部長の諮問に応ずる。

第 13 条 支部監事は、支部の運営業務及び会計を監査する。

第 14 条 支部幹事は、支部の事務を行なう。

第 15 条 支部は、本部の庶務、刊行物及び会計に関する内規の適用を受ける。

(会 議)

第 16 条 支部会議は、支部総会及び支部運営委員会とする。

第 17 条 通常支部総会は、年 1 回会計年度終了後、支部長が招集する。又運営委員が必要と認めたとき、及び支部会員の 1/5 以上が要請するときは、臨時支部総会を開催する。支部総会は会員現在数の 1/5 以上の出席をもって成立する。

支部総会は次の事項を審議し、決議事項はすべて本部に報告し、承認を受ける。

(1) 役員の選出

(2) 運営方針、事業計画及び予算、事業報告及び決算

(3) 支部規則の変更

(4) その他

第 18 条 支部運営委員会は、支部長、副支部長、運営委員、支部監事をもって構成し、必要の都度開催する。

支部運営委員会は、構成員の 2/3 以上の出席をもって成立する。

支部長は必要に応じて、支部顧問の出席を要請することができる。

第 19 条 支部会議の議決は特に定める場合を除き、出席者の過半数で決する。なお委任状による議決への参加を認める。

(会 計)

第 20 条 支部は本部からの交付金をもってその経費にあてる。

第 21 条 支部の会計年度は、毎年 3 月 1 日に始まり、翌年 2 月末日に終る。

第 22 条 支部は毎年度末に事業ならびに収支報告書（本部にて定めたる様式をもって）を作成し、本部に提出する。

(支部規則の変更)

第 23 条 この支部規則は、支部総会で出席者の 2 / 3 以上の賛成を得、かつ本部理事会の承認を得て変更することができる。

(付 則)

~~第 24 条~~ 本支部規則は昭和 49 年 3 月 1 日より施行する。

~~第 25 条~~ 本支部規則は昭和 51 年 3 月 24 日一部変更した。

~~第 26 条~~ 本支部規則は昭和 52 年 3 月 26 日一部変更した。

本支部規則は 2022 年 3 月 6 日一部変更した (表題、第 2 条、第 6 条(2)、第 13 条、第 17 条、第 23 条、附則)。